株式会社 小松製作所

第151回 定時株主総会

2020年6月18日

KOMATSU

事業報告

連結業績

区分	第151期（2019年度）	前期比
売上高	2兆4,448億円	10.3%減
営業利益	2,507億円	37.0%減
売上高営業利益率	10.3%	4.3ポイント減
当社株主に帰属する当期純利益	1,538億円	40.0%減
ＲＯＥ	8.6%	6.1ポイント減

連結業績

区分	第151期（2019年度）	前期比
売上高	2兆4,448億円	10.3%減
営業利益	2,507億円	37.0%減
売上高営業利益率	10.3%	4.3ポイント減
当社株主に帰属する当期純利益	1,538億円	40.0%減
ＲＯＥ	8.6%	6.1ポイント減

連結業績

区分	第151期（2019年度）	前期比
売上高	2兆4,448億円	10.3%減
営業利益	2,507億円	37.0%減
売上高営業利益率	10.3%	4.3ポイント減
当社株主に帰属する当期純利益	1,538億円	40.0%減
ＲＯＥ	8.6%	6.1ポイント減

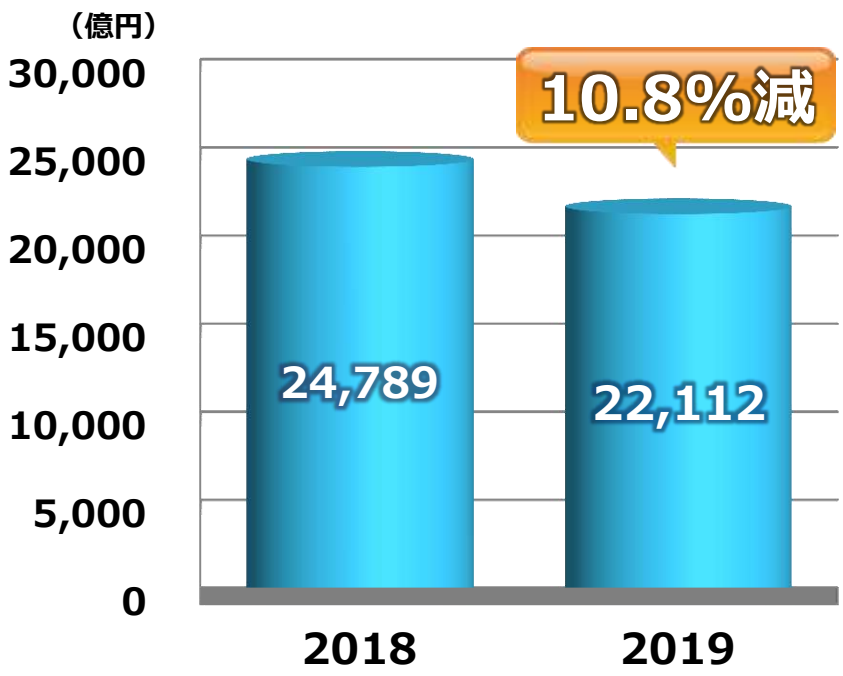
連結業績

区分	第151期（2019年度）	前期比
売上高	2兆4,448億円	10.3%減
営業利益	2,507億円	37.0%減
売上高営業利益率	10.3%	4.3ポイント減
当社株主に帰属する当期純利益	1,538億円	40.0%減
ＲＯＥ	8.6%	6.1ポイント減

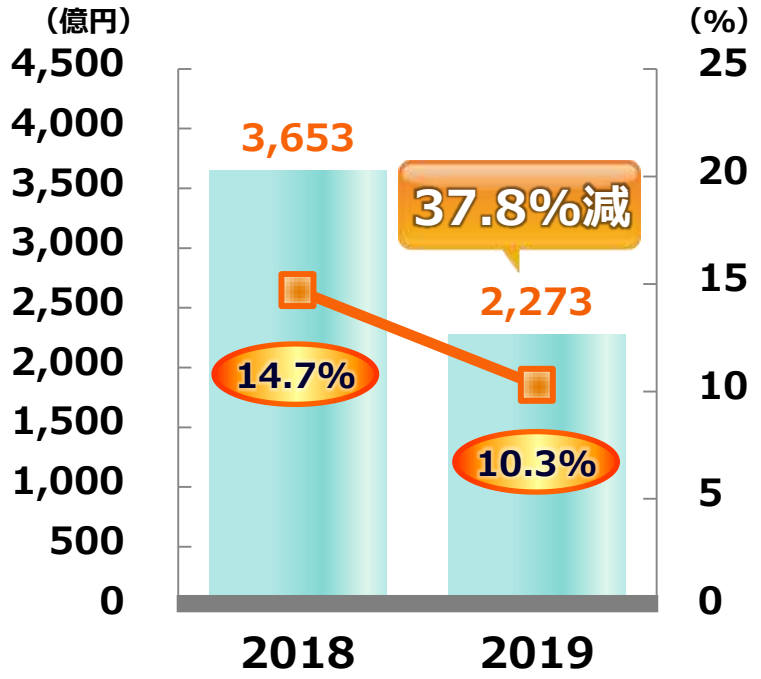
建設機械・車両

- アジアをはじめとする戦略市場での需要減少に加え、第4四半期には新型コロナウイルスの影響により需要が減少

売上高



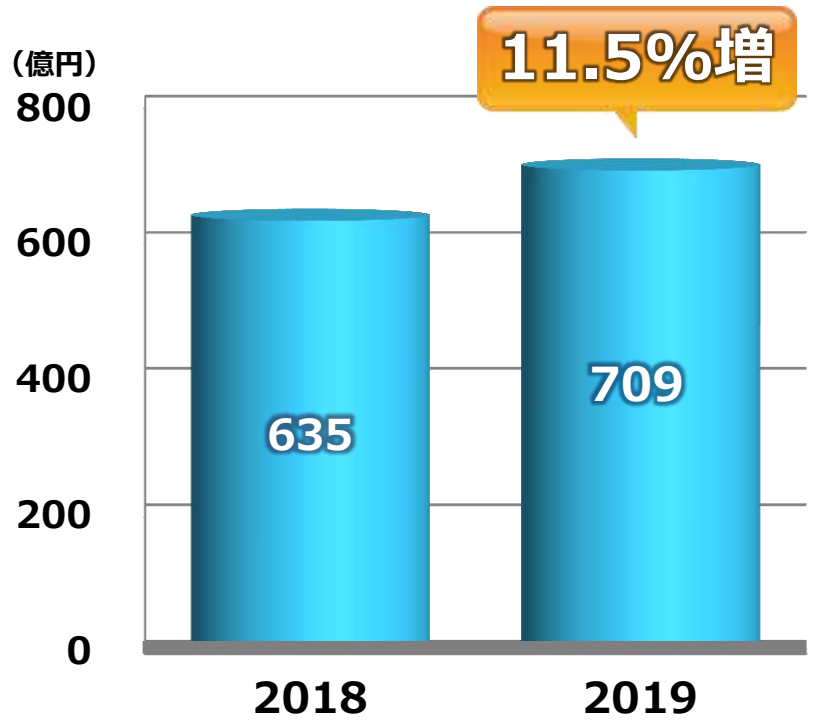
セグメント利益・利益率



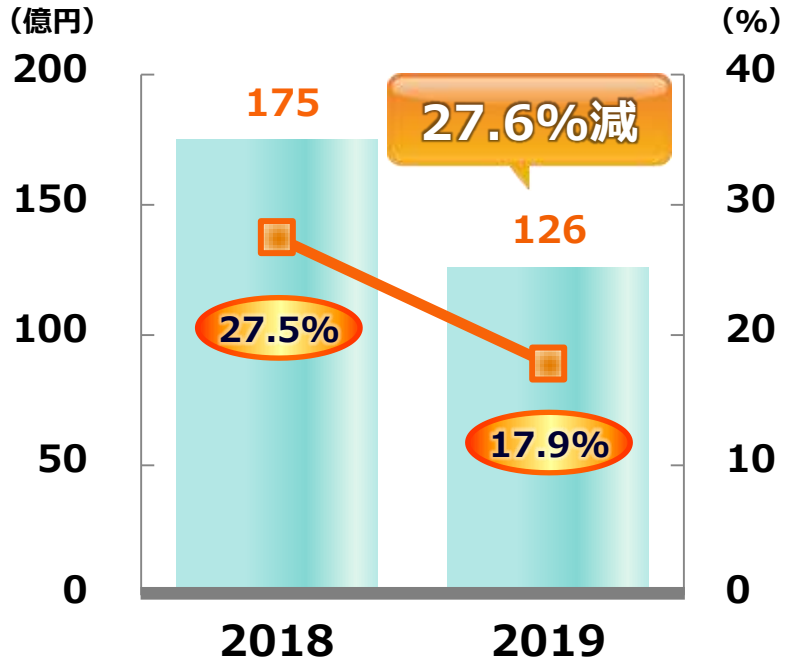
リテールファイナンス

- 北米、欧州などでの資産増加効果
- 中国での引当金戻し益がなくなったこと等により減益

売上高



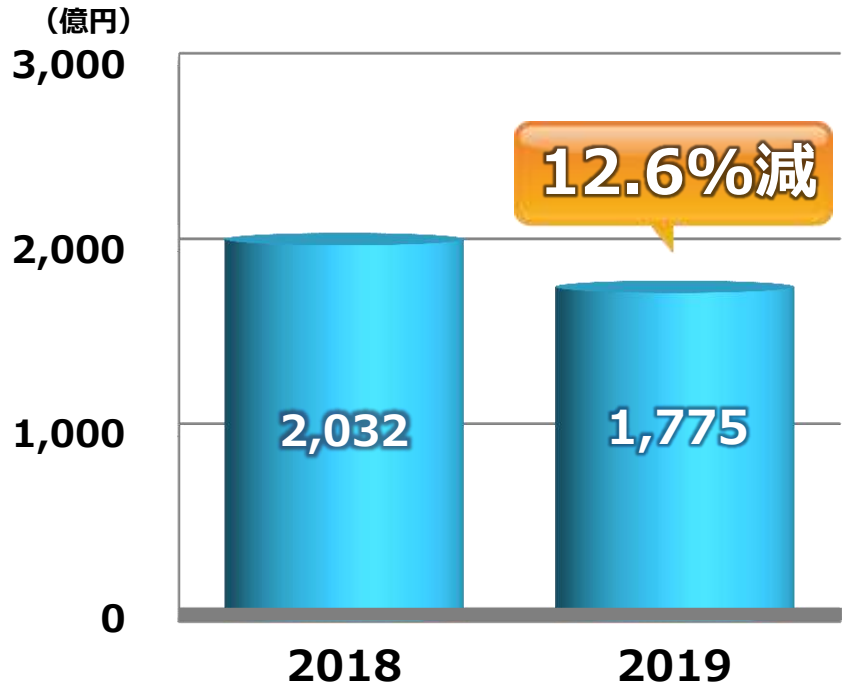
セグメント利益・利益率



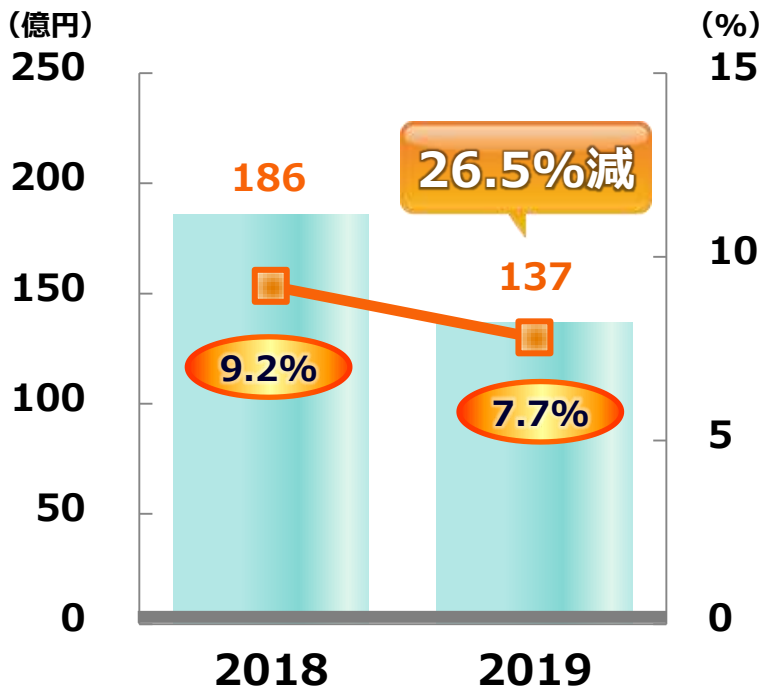
産業機械他

- 自動車業界向けの鍛圧機械および工作機械の需要減少
- エキシマレーザー関連製品の需要減少

売上高

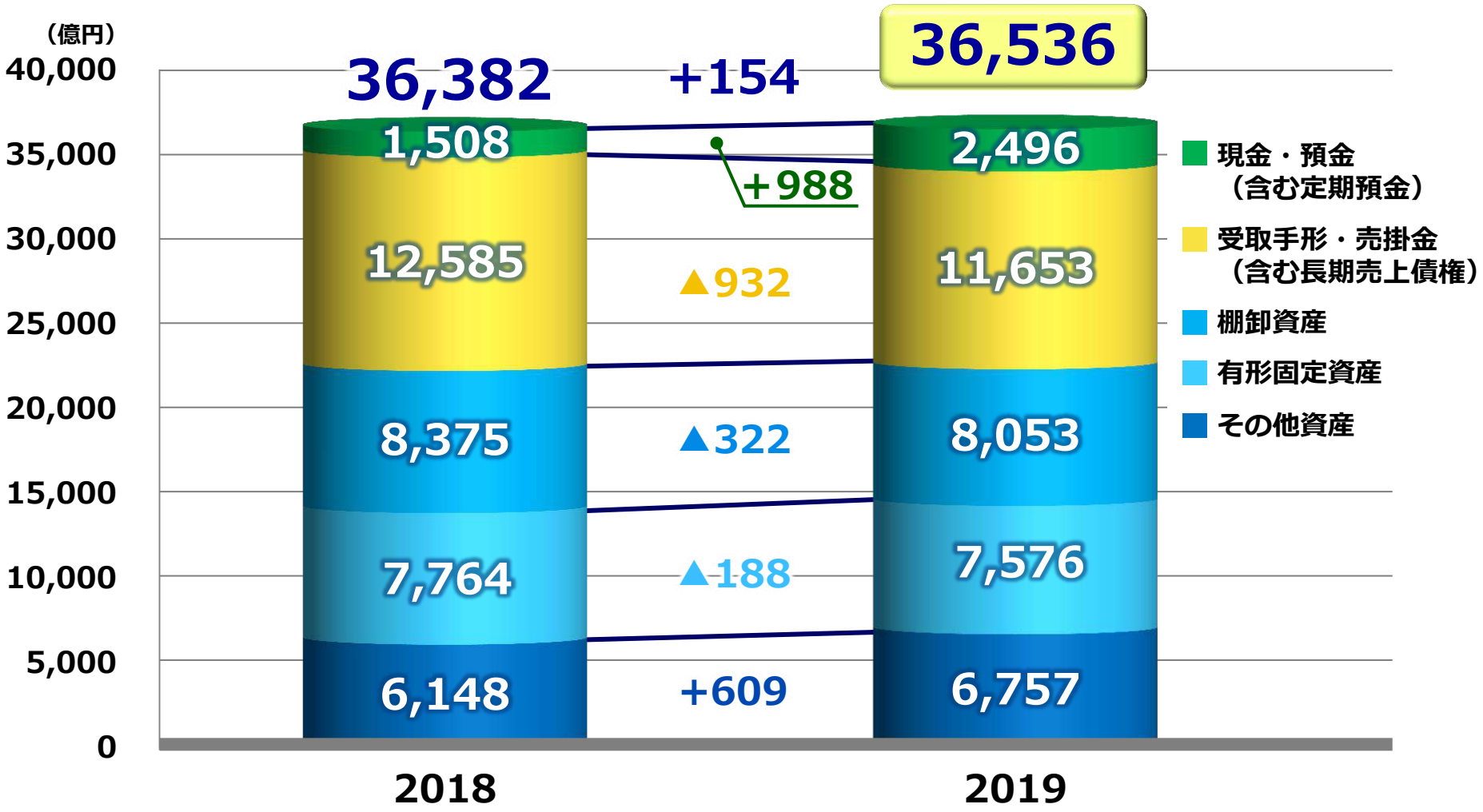


セグメント利益・利益率



連結計算書類および計算書類

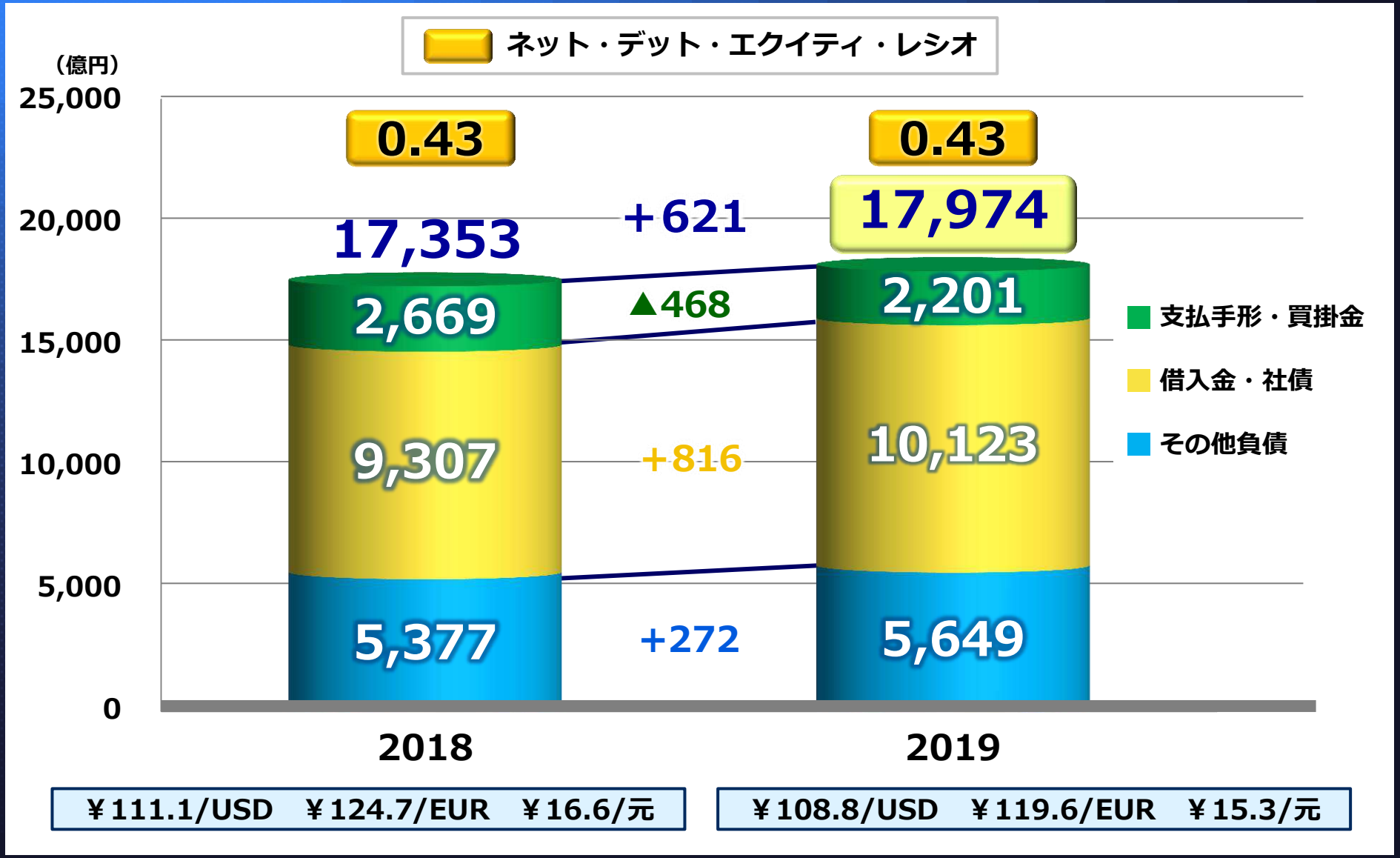
連結貸借対照表 資産の部



￥111.1/USD	￥124.7/EUR	￥16.6/元

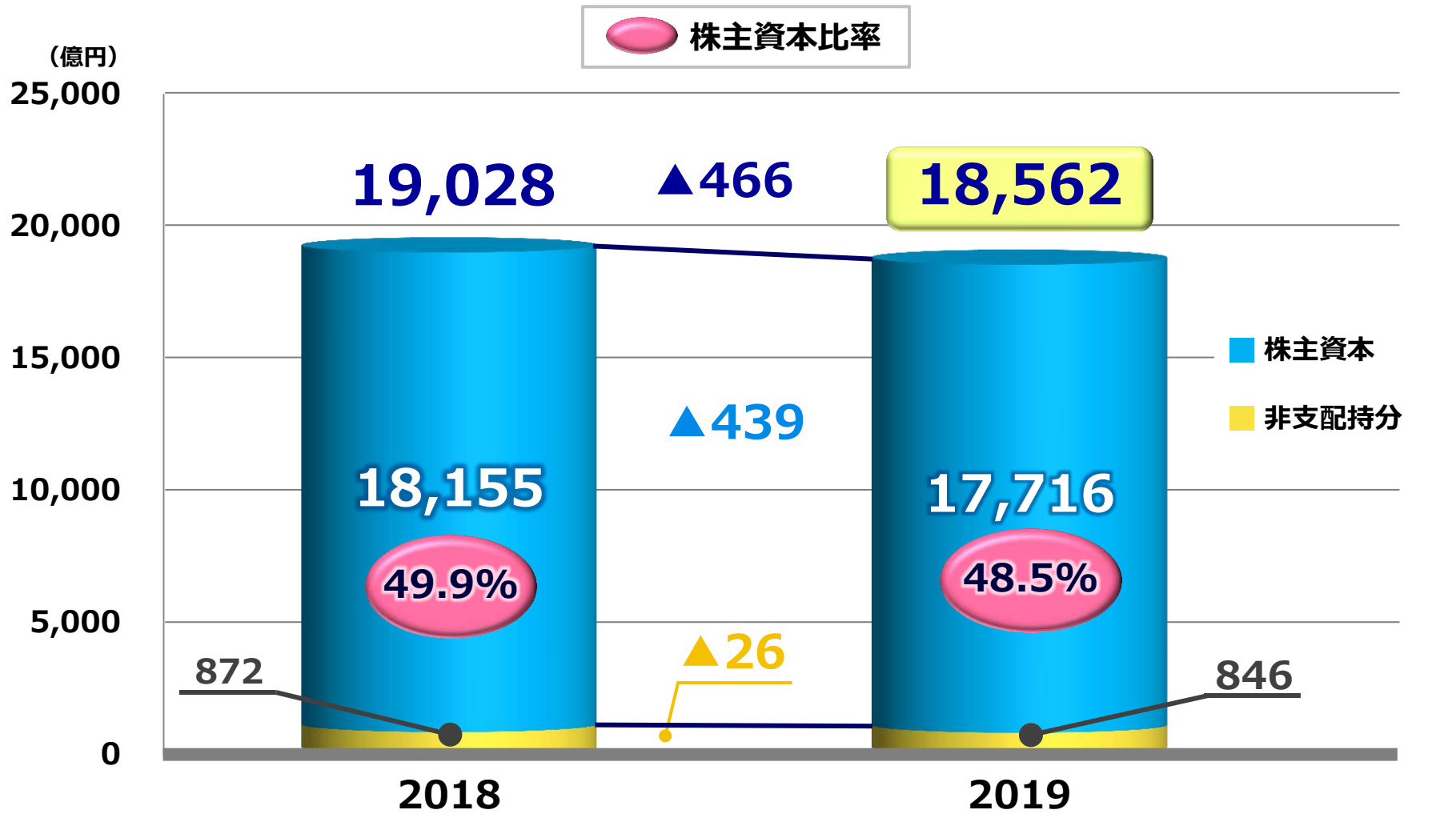
￥108.8/USD	￥119.6/EUR	￥15.3/元

連結貸借対照表 負債の部



￥111.1/USD　￥124.7/EUR　￥16.6/元	￥108.8/USD　￥119.6/EUR　￥15.3/元

連結貸借対照表 純資産の部



￥111.1/USD　￥124.7/EUR　￥16.6/元	￥108.8/USD　￥119.6/EUR　￥15.3/元

連結損益計算書

区 分	第151期（2019年度）	前 期 比
売 上 高	2兆4,448億円	10.3%減
営業利益	2,507億円	37.0%減
売上高営業利益率	10.3%	4.3ポイント減
当社株主に帰属する当期純利益	1,538億円	40.0%減
ＲＯＥ	8.6%	6.1ポイント減

対処すべき課題

新中期経営計画
（2019年度～2021年度）

DANTOTSU Value
FORWARD Together for Sustainable Growth

世界の現場を、「ダントツ」でつなぐ

今、世界は、地球規模で大きく変わり始めています。
社会やお客さまが何に困り、何を必要としているのか。
私たちは、今、何をすべきなのか。
それは、私たちの強みである圧倒的な
商品・サービス・ソリューションを進化させ、
お客さま、代理店、パートナー、地域社会、そして私たちすべての現場を
ダントツでつなぐことで、持続的成長を目指すことです。
「ダントツ」で世界を変える、私たちが変える。
それがコマツのダントツバリューです。

成長戦略3本柱

① イノベーションによる価値創造

② 事業改革による成長戦略

③ 成長のための構造改革

①イノベーションによる価値創造

2019年度 実績	・スマートコンストラクションの導入拡大 （国内累計10,000を超える現場） ・デジタルトランスフォーメーション・スマートコンストラクション 提供開始発表 ・3D施工を可能にする油圧ショベル用後付けキットの導入開始発表 ・無人ダンプトラック運行システム(AHS)の 総稼働台数221台の達成 ・鉱山顧客向けのオペレータートレーニング会社の買収 ・「bauma2019」にてバッテリー駆動式ミニショベルの展示、 日本向けにレンタル機として市場導入
2020年度 以降の課題	・スマートコンストラクションの海外展開 ・鉱山用新プラットフォーム開発 ・自動化・自律化・電動化・遠隔操作化の技術開発

②事業改革による成長戦略

2019年度 実績	• コマツマイニング(株)の拠点との統廃合 • 砕石・セメント向けモデル導入 • 戦略地域向け油圧ショベルのモデルチェンジ • 「KomVision 人検知衝突軽減システム」を標準装備した油圧ショベルを国内市場導入
2020年度 以降の課題	• 坑内掘りハードロック事業の市場ポジション向上 • 次世代KOMTRAXの導入 • ライフサイクルサポート実現に向けたバリューチェーン改革の継続推進 • 産業機械事業改革 （建設機械事業とのシナジー拡大、コア技術による成長）

③成長のための構造改革

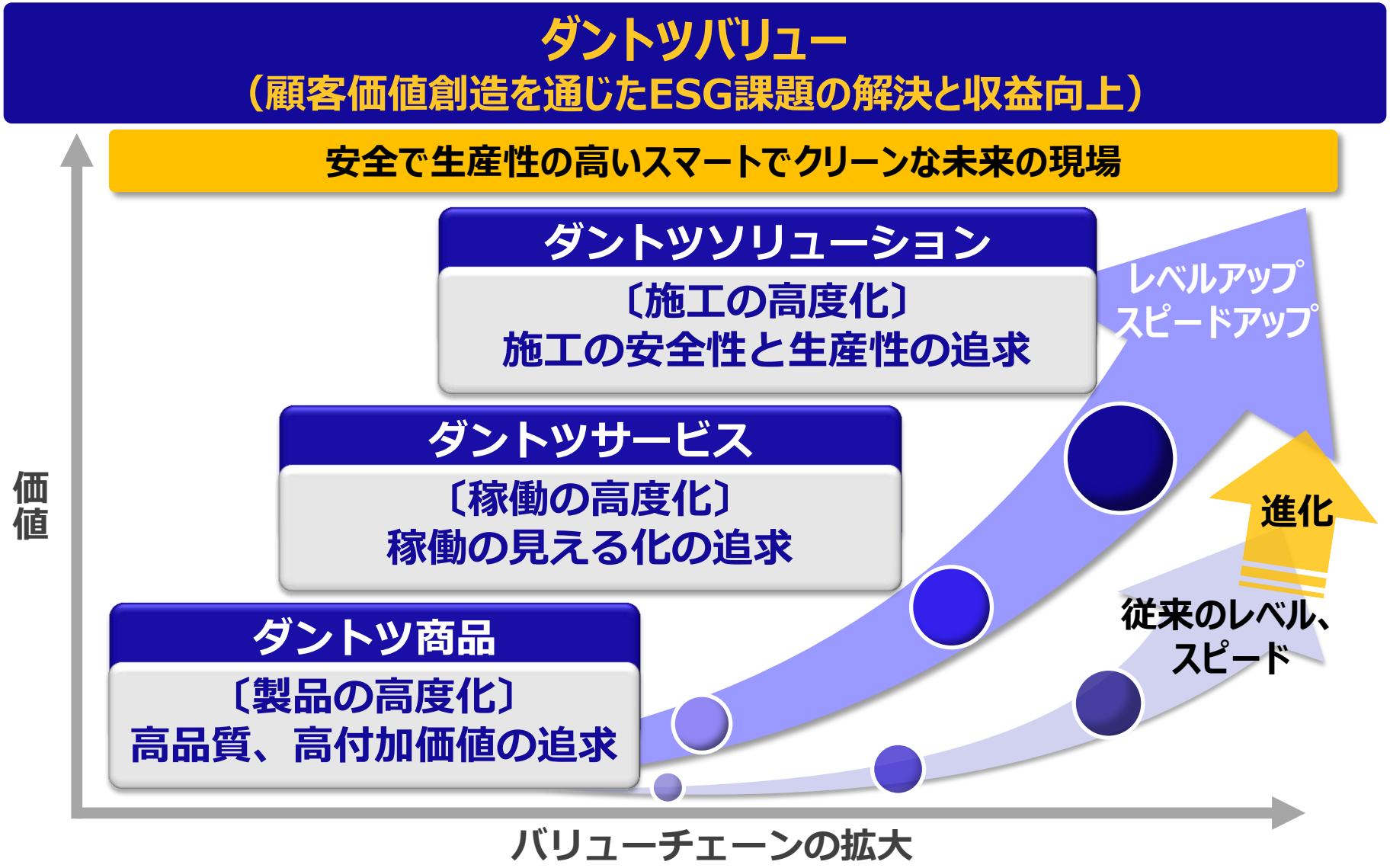
2019年度 実績	・着実なコスト改善活動 ・「つながる工場」を実現する「KOM-MICS」が、 ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞受賞 ・コマツマイニング(株)の新ミルウォーキー工場および コマツフォレスト(株)の新ウメオ工場の着工
2020年度 以降の課題	・ICT・IoTによる業務改革推進 ・継続的なコスト改善活動の推進 ・グローバルな人材強化、ダイバーシティの推進

※KOM-MICS : Komatsu Manufacturing Innovation Cloud System

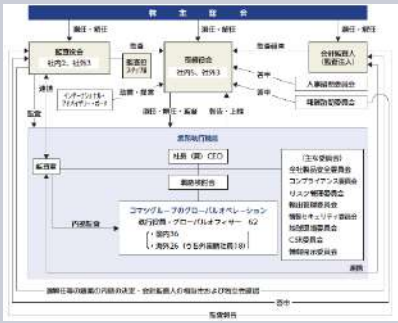
成長分野への重点投資による持続的成長



成長分野への重点投資による持続的成長



ESGへの取り組み

E ：環境（Environment）	**E（環境）への取り組み** 廃棄ガスゼロを実現した バッテリー駆動式ミニショベル	
S ：社会（Social）	**S（社会）への取り組み** 循環林業への貢献と ダイバーシティの推進 ・グローバル人材の強化と育成 ・女性の活躍推進	 
G ：ガバナンス（Governance）	**G（ガバナンス）への取り組み** コーポレート・ガバナンスの強化 経営効率の向上と企業論理の浸透 経営の健全性確保	

成長戦略３本柱によるESG課題の解決

CSR重点分野	成長戦略３本柱によるESG課題の解決	SDGsとの関係
生活を豊かにする -社会が求める商品を提供する-	・気候変動に対応した環境負荷低減や安全に配慮した高品質・高能率な商品・サービス・ソリューションの提供	産業技術革新  持続可能都市  気候変動  協業 
人を育てる	・多様な人材の育成 ・ダイバーシティ・グローバル人材の強化と育成	経済発展 
社会とともに発展する	・ステークホルダーとの協業による社会的課題の解決 ・責任ある企業行動	持続可能都市  協業 

本業を通じたESG課題解決

成長戦略３本柱によるESG課題の解決

CSR重点分野	成長戦略３本柱によるESG課題の解決	SDGsとの関係
生活を豊かにする -社会が求める商品を提供する-	・気候変動に対応した環境負荷低減や安全に配慮した高品質・高能率な商品・サービス・ソリューションの提供	産業技術革新 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 持続可能都市 11 住み続けられるまちづくりを 気候変動 13 気候変動に具体的な対策を 協業 17 パートナーシップで目標を達成しよう
人を育てる	・多様な人材の育成 ・ダイバーシティ・グローバル人材の強化と育成	経済発展 8 働きがいも経済成長も
社会とともに発展する	・ステークホルダーとの協業による社会的課題の解決 ・責任ある企業行動	持続可能都市 11 住み続けられるまちづくりを 協業 17 パートナーシップで目標を達成しよう

本業を通じたESG課題解決

成長戦略３本柱によるESG課題の解決

CSR重点分野	成長戦略３本柱によるESG課題の解決	SDGsとの関係
生活を豊かにする -社会が求める商品を提供する-	・気候変動に対応した環境負荷低減や安全に配慮した高品質・高能率な商品・サービス・ソリューションの提供	産業技術革新  持続可能都市  気候変動  協業 
人を育てる	・多様な人材の育成 ・ダイバーシティ・グローバル人材の強化と育成	経済発展 
社会とともに発展する	・ステークホルダーとの協業による社会的課題の解決 ・責任ある企業行動	持続可能都市  協業 

本業を通じたESG課題解決

成長戦略３本柱によるESG課題の解決

CSR重点分野	成長戦略３本柱によるESG課題の解決	SDGsとの関係
生活を豊かにする -社会が求める商品を提供する-	・気候変動に対応した環境負荷低減や安全に配慮した高品質・高能率な商品・サービス・ソリューションの提供	産業技術革新 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 持続可能都市 11 住み続けられるまちづくりを 気候変動 13 気候変動に具体的な対策を 協業 17 パートナーシップで目標を達成しよう
人を育てる	・多様な人材の育成 ・ダイバーシティ・グローバル人材の強化と育成	経済発展 8 働きがいも経済成長も
社会とともに発展する	・ステークホルダーとの協業による社会的課題の解決 ・責任ある企業行動	持続可能都市 11 住み続けられるまちづくりを 協業 17 パートナーシップで目標を達成しよう

本業を通じたESG課題解決

KOMATSU